

しょうがくせい 小学生のみなさんへ

がくねん 学年
くみ 組

みなさんが「地図帳」について質問にこたえてください。

- この用紙にこたえを書いてください。うら面もわざれずに書いてください。
- 番号をえらぶ「質問」は、あてはまる番号を1つえらび、○をつけましょう。
- 一番上に学年と組をわざれずに書いてください。名前は書かなくていいです。

しつもん 質問1 しゃないか
社会科はすきですか。

- ①大好き
- ②すき
- ③どちらでもない
- ④きらい
- ⑤大きらい

しつもん 質問2 がっこう はちちょう
学校では地図帳をよくつかいますか。

- ①よく使う
- ②ときどき使う
- ③ほとんど使わない
- ④まったく使ったことがない

しつもん 質問3 はちちょう み
地図帳を見るのは、すきですか。きらいですか。

- ①大好き
- ②すき
- ③どちらでもない
- ④きらい
- ⑤大きらい

しつもん 質問4 どうして地図帳を見るのがすき、または、きらいなのですか。理由を教えてください。

しつもん 質問5 いえ 家で、勉強以外の目的で地図帳を使うことはありますか。

- ①よく使う
- ②ときどき使う
- ③ほとんど使わない
- ④まったく使ったことがない

しつもん 質問6 しつもん がた
質問5で、①から③をえらんだ方への質問です。家では、どのよう目的で地図帳を使いますか。
(質問5で④をえらんだ方は、こたえなくていいです)

しつもん 質問7 はちちょう じぶん し
地図帳で、自分の知らない地名の場所をさがすことができますか。

- ①さがさせる
- ②さがせない

しつもん 質問8 今まで旅行で行ったことのあるところ (県名や国名) をおぼえているだけ書いてください。

しつもん 質問9 はちちょう なん じゅう
地図帳について、思っていることを何でも自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

■編集後記

このアンケート結果をご覧になって、どのようにお感じになつたでしょうか。もちろん、お感じになったことは、人それぞれであるかと思います。子どもたちの県名認知度を低いと感じられる先生もいらっしゃるでしょうし、地図や県名の指導に、少し力を入れて取り組もうとお考えになった先生もいらっしゃるでしょう。

県名認知や誤答の傾向に関しては、ある程度は予想通りの結果になりましたが、全国的な傾向を数字で出せたことは、一つの成果であるというふうに考えております。

ただ、これらの結果を、現在騒がれている「学力低下」に短絡的に結びつけるようなことは避けていただきたいと思ひます。何年か前と比較して、県名認知度が低くなったかどうかを

計るための資料はないのでしょうか（地図や県名認知度に関する、この規模での調査は、文部省実施の「学力調査」を除けば、初めてだと思います）。一つのデータとして、客観的にとらえていただきたいと思います。

しかし、正直なところ私たちとしては、子どもたちの県名認知度がこれで十分であるとは思いません。

国際理解教育が重要であることは、無論いうまでもありませんが、自国のことについて正しい認識を持つことも、より重要なではないでしょうか。それぞれの県や地方についての情報やイメージを蓄積していくことは、子どもたちにとって、非常に大切なことだと考えます。そのためにも、「都道府県」の名前と位置を認知することは、基礎中の基礎といえるでしょう。

きぎょう 作業 あなたが知っている「都道府県名」を教えてください

☆地図に書かれている、1~47の県のなかで、あなたが知っている県名を、下の「かいざらん」に書いてください。

※地図の番号と、かいざらんの番号はあわせてください。たとえば、5の県の県名を知っているのなら、かいざらんの5のところに県名を書くようにしてください。漢字がわからなければ、ひらがなで書いてください。

※もし県名は知っていても、場所がわからない場合は、あてずっぽうで書いてもいいですよ。

※地図帳などを見ずに、自分一人の力で答えてくださいね。友だとも、そだんしないでください。

1		26
2		27
3		28
4		29
5		30
6		31
7		32
8		33
9		34
10		35
11		36
12		37
13		38
14		39
15		40
16		41
17		42
18		43
19		44
20		45
21		46
22		47
23		
24		
25		



中学校段階では、日本の県名と位置に加え、県庁所在地、さらに世界の主要国と日本の近隣諸国（約50~70カ国程度が目安）の国名と位置の認知、獲得を、求められます。これらをまとめて身につけるのは、かなり困難なことだと思います。

だからこそ、小学校中学年段階から、各学習内容と関連づけながら県名と位置を少しづつ認知させていき、小学校卒業までに、おおよそマスターできれば、後々の子どもたちの負担を少しは軽くできるでしょう。

「地図帳や県名指導は必要でない」と考える先生は、ほとんどいらっしゃいません。大半の先生が、「日本や世界の様々な地域のことを認識させたり、興味を持たせるために地図帳は必要なもの」として、とらえていただいているようです。

※普及班では、先生方にも地図帳に関するアンケートを実施いたしました。その中で、「地図帳は必要」と答えられた先生は、回答者350人中、300人に達しました（約85%。残りの回答は、無回答および、「わからない」という回答が大半。「不要」と答えられた先生は1%もいませんでした）。

是非とも、一人でも多くの先生方にこの冊子を読んでいただき、これらの結果を今後の地図指導や県名指導に活かしていただければと存じます。